

エンパワーするNGO YWCA **京都 YWCA** **7** **2023** **100th ANNIVERSARY KYOTO YWCA** 古都に咲いて100年

対話を通して心の傷に向き合い、自らの尊厳を取り戻す
 ～受刑者更生プログラムを扱ったドキュメンタリー映画「プリズン・サークル」を観て～

5月の新緑を楽しむ間もないくらいの初夏のような連日の暑さの中、京都 YWCA は室町教会にて「プリズン・サークル」(坂上香監督作品)の上映会および藤岡淳子さん(大阪大学大学院名誉教授)の講演会を実施しました。

70名を超える参加者が来てくださり、会場はほぼ満席でした。舞台である「島根あさひ社会復帰センター」は官民協働で運営する新しい刑務所です。新しさは警備や職業訓練を民間が担うということだけでなく、センター独自の更生プログラムにあります。受刑者同士の対話をベースに犯罪の原因を探り、更生を促す「TC (Therapeutic Community = 回復共同体)」というプログラムを日本で唯一導入しているからです。

彼らが向き合うのは犯した罪だけではなく、今までの生活の記憶です。2年間の密着取材で4人の若者を中心に撮影されました。上映は136分という長さでしたが、一つひとつのエピソードにまとまりがあり、刑務所の現状、服役者の現状・生活、支援者からの視点がわかりやすく、多角的な視点は考えさせられるものがありました。また、服役後の支援までしっかりとした形で行われ、このプログラムに参加した人たちが今をどのように生きているかを知ることができました。

心の回復の土台としての「安全・安心な場」の必要性

上映後は TC を監修した藤岡淳子さんの講演があり、映画を見た会場からの感想を導入に、話をさせていただきました。TC という「いれもの」の中に安全・安心な場を作り出し、そこで自身を知り、コミュニティを作ることが回復・成長につながります。互いに話し、聞くという場は安心・安全が保障されなければできません。一人ひとりが大切にされる場ではできません。

人は誰でも生きていればストレスがあるもので、適度なス

トレスは健康的な精神の発達に必要であり、変化・成長を促します。しかし、問題が長期に及び、強烈なストレス反応が生じ続けると害となり、特に子ども時代の長期・反復的ストレスの持続的悪影響として「逆境的小児期体験」があげられます。小児期の予測不能な慢性ストレスは、ストレス反応を調整する遺伝子の機能をオフにする変化を生じさせ、脳は反応を正しく調整できなくなります。つまり全く反応しないか、過剰に反応することになります。

さまざまな被害・加害の回復の共通基盤は「安全の確保・安心の醸成」です。それは予測可能な暮らしができ、納得できるルールがあること、信頼できる相互的で開放的な関わりができることです。それがあって過去を振り返り、喪ったものを悲しみ、新たなものを手に入れ、将来に向けて行動することができます。

映画と講演を通して、自分自身が支援者として対象者との関わりを学びなおし、スキルアップの必要性を考えさせられました。まず、安心・安全な場をつくり、これからも京都 YWCA の自立援助ホーム「カルーナ」や若者の居場所「Yここ Kitchen」でトラウマを抱えた若い人たちを支援していきたいと思いました。

(山本佳奈)



室町教会に会場をお借りしました



藤岡淳子さんの講演の様子

世界YWCA 会員日集会 2023 ～国連女性の地位委員会 CSW67 報告と学び～

4月22日、京都YWCAで開催された世界YWCA会員日集会にて、私は日本YWCAからの派遣メンバーとして出席した第67回国連女性の地位委員会（CSW67、2023年3月開催）の派遣報告会を実施しました。今年度はユース委員会が集会を企画し、当委員会の活動紹介やユースの語り場である「夜かふえ」の多世代版を参加者に体験してもらいました。

私はCSW67全体の簡単な紹介の後、日本YWCA主催イベント“Social media and sexual exploitation: young women's perspectives from Japan”（ソーシャルメディアと性搾取：日本の若い女性からの視点）の内容紹介、ニューヨーク派遣中の活動・学びを語り、最後に私から参加者へのメッセージを伝えました。また、私がCSW67で焦点を当てた「オンライン子どもの性搾取」について、参加者の方々に実用的な予防方法を共有したいと思いCSW67で取り上げた性被害防止スマホアプリの「コドママ」を紹介しました。質疑応答では、現地の熱気、パレスチナYWCAが訴えた紛争下での現地課題の実態、「コドママ」への反響も共有しました。

報告会では、CSW67という大規模な集会を集約して伝えることに苦戦しましたが、報告の機会をいただけて幸せでした。今後私はインターネットを介した子どもの性被害のリスク・予防方法を中高生に伝える活動や、政治家への働きかけなどを通じて子どもの性被害防止を強化する予定です。

皆さんに現地での印象的なエピソードを紹介します。ある友人が“Your Body, Your Choice”という言葉をかけてくれました。この言葉は、社会が暗黙のうちに女性に産出・育児を要求することに疑問を抱き、同時にそのことを後ろめたく感じていた私に、身体に関する自己決定の自由を当たり前のことと捉えて良いという価値観を教えてくれました。私もCSW67での学びを活用し、エンパワメントの輪を広げていきたいです。

（中田茉衣）



会場からは活発な質問や意見が出された

シリーズ——日本語でつなぐ笑顔と笑顔 (3) ～にほんご教室「洛楽」～

共に学ぶ楽しさ

ヴィッカー・タマヤ（インドネシア出身）

はじめて日本にきました。日本語わかりませんでした。YWCAをみつけました。6か月前に日本語のべんきょうをはじめました。ひらがな・カタカナ上手になりました。私はうれしいです。

まつぎき・サビタ（フィリピン出身）

先生もクラスメートもみんなやさしいです。また、YWCAでは、べんきょう中にむす子をつれてくることのできるの、本とうにかんしゃしています。私はらくらくでべんきょうするのが大きいです。

ニラ・ケシ（ネパール出身）

私はネパール出身です。私は修士号を取得するために2020年12月に日本に来ました。2022年11月にらくらくに来ました。私はしごとやせいかつで日本語をつかい、たくさんのごことをします。先生は私たちにたくさんのごことを教えてくれます。



京都YWCAにほんご教室洛楽

ラム・ジシ（ネパール出身）

私は2年前から日本に住んでいます。日本語はむずかしいです。だから、私は京都YWCAにきました。今、前よりひらがなとかたかなができます。ありがとう、京都YWCAと先生、これからもがんばります。

ファンエンシヤ 范彦曉（中国出身）

洛楽で日本語を学ぶのは、とても面白くてリラックスできます。日本語と日本文化について独学で学べないこともあります。ここで上達できると信じています。将来は日本語で日本人とコミュニケーションをとりたいです。



木曜日の入門クラスの受講生たち

リユニオン「ようこそ会館へ」 ホームカミングパーティーを終えて

京都 YWCA では、100 周年を記念してさまざまな催しを展開しているところです。今は会館に足を運ぶことがない旧会員・旧会友などにお知らせして再会の機会がもてないか、そして「新しいページ」を開きつつある現在の京都 YWCA に関係のある方たちとの出会いの機会を設けたいと「リユニオン」の企画は始まりました。

当日は、あいにく小雨も混じる天気でした。お知らせが漏れなくできなかった面もありましたが、呼びかけにお応えくださった方々が来館くださり、全体で 27 名の参加者を数えました。京都 YWCA 伝統のケーキ 3 種類と飲み物や持ち寄りのものをいただきながら、和やかに楽しい時間が流れました。参加者の自己紹介から始まった様子の一部を紹介します。

京都 YWCA の元「昭和を考える会」の 2 名の方に参加いただきました。現在も数名で月 1 回、時事・社会問題について語る集まりを続けておられます。変わらない社会に対する鋭い目と、思いの力強さと迫力に改めて刺激を受けました。

また、旧会友で昔の年少部門「ティーンズ」でリーダーを経験し、現在は大学で教鞭をとられている方からは、元中高部・ティーンズの仲間とは今も交流を持ち、昨年キャンプに

行ったことや「自分は YWCA に育ててもらった」というお話を伺いました。

現在、京都 YWCA のサービス付高齢者向け住宅サラームにお住いの方は「京都 YWCA は多くの人を支えてきたのですね」と感想を述べられました。

想定を超えたうれしいこととして、会館の配架のチラシでこの会を知り YWCA に興味を持たれた方々の参加があったこと。大阪 YWCA からも参加いただき、YWCA のネットワークのつながりを改めて感じる言葉もいただきました。

保育園やサマリヤ館などを一緒に見学してもらいながら、懐かしいエピソードを聞くこともできました。初めて出会った方同士も親しくお話しでき、新たな出会いと今後の縁への期待と希望がうまれた「リユニオン」でした。

(100 周年記念実行委員会
弘中奈都子)



参加のサラーム入居者を皆で歓迎

2023 年度加盟 YWCA 中央委員会に参加して 活動のバトンを誰に渡すのか——持続可能な会員活動のために



5 月 27 日、大阪 YWCA を会場に加盟 YWCA 中央委員会が開催された。毎年一度、日本 YWCA 会長などの役員、日本 YWCA 運営委員、全国に 24 ある地域 YWCA の会長と総幹事（またはその職責にある職員）が一堂に会することになっている。コロナ禍のためここ 3 年間はすべてオンラインで行われており、久しぶりの対面を基本とするハイブリッドによる集まりとなった。日本 YWCA の前年度事業や決算、今年度の事業計画と予算や取り組み、地域 YWCA 会長会などについての報告があった。

日本 YWCA 会長の藤谷佐斗子さんからの開会メッセージでは、YWCA 全体で高齢化が進み会員減少が大きな課題になっており、わたしたちはこの活動のバトンを誰に渡すのかに真剣に取り組まなければならないことが話された。世界 YWCA の「2035 年に向けたビジョン」構築にも、若い女性と少女のエンパワメントに投資することや、世代を超えた運動の中で変革を起こすことが挙げられている。

午後からは、参加者が交流を深めながら、これらの課題解決へのアクションプランを検討した。テーマは「サステ

イナブル（持続可能）な会員活動について語り合おう」であった。日本 YWCA にある 4 つの委員会から、平和・核、東日本大震災被災者支援、中高 YWCA、人権・ジェンダーに関する発題とワールドカフェ形式での話し合い、第 67 回国連女性の地位委員会（CSW67）に参加したユースからの報告があった。

会の最後に「地域 YWCA への所属は困難だが、YWCA の理念に賛同し活動する意欲のある人に対して、全国レベルや各地域でできることはなにか」という問いかけへのグループ協議が行われた。

社会の変化に対応する YWCA の組織改革の必要性と、変わらぬ社会課題解決への YWCA 運動の普遍性や意義を、全国の YWCA で再認識する時間となった。

(篠田茜・別所加恵)



全国の仲間と YWCA 運動のこれからを考える

今後のプログラム

◎親子でスイーツ♪

夏のつめたいお菓子和混ぜて焼くだけスイーツをつくろう！

- 日 時：7月30日(日) 13:00～15:00
- 場 所：京都YWCA本館1階
- 対 象：年中～小学3年生の親子 10組限定
- 参加費：2,000円(大人1人+小人1人)
※追加があれば小人300円、大人500円
- 申込み：7月24日(月) 京都YWCA受付まで

◎「大文字送り火」を見る会

京都YWCA本館屋上から送り火を鑑賞していただきます。

- 日 時：8月16日(水) 受付開始 午後6時半より
- 内 容：歓談タイム(軽食、ワンドリンク提供)のあとに、午後8時より送り火鑑賞
- 場 所：京都YWCA
- 対 象：どなたでも
- 参加費：中学生以上 2,000円
小学生 800円 小学生未満 無料
- 申込み：事務局まで 8月9日締切(定員50名)
- 主 催：京都YWCA100周年記念実行委員会

◎ガジュマルの樹「夏休みデアウト」

小学生を対象に、草木染や科学実験などの楽しいプログラムです。

- ※プログラム内容は変更の可能性もあります。
- 日 時：8月18日(金) 9:30～16:30
- 場 所：京都YWCA本館1階
- 対 象：小学1～6年生
- 参加費：2,500円(プログラム材料費、おやつ込み)
※プログラム前後に預かり保育も有料で承ります。
- 申込み：京都YWCA会館設置の申込書にご記入の上、受付にご提出ください。

京都YWCA公式LINEのご案内

このたび京都YWCAの公式Lineアカウントができました！
イベント案内などを発信していきます。ぜひ「お友達」になってください。

「京都YWCA100周年記念募金」
へのご協力をお願い

京都YWCAは今年100周年を迎えました。現在「多世代・多文化ふれあいコミュニティづくり」事業を推進しており、この歩みをさらに前進させるために、100周年記念募金を実施いたします。ご寄付は以下の目的に充てられます。

- 担い手育成・次世代育成のために
- 保育環境の向上のために
- W・M・ヴォーリズ建築「サマリア館」の補修のために
- 歴史を未来に引き継いでいくために

目 標 額：1,000万円

(2023年度5月26日時点 達成額 6,346,867円)

募集期間：2021年4月～2024年3月

募 金 額：個人 1口 3,000円

団体・企業 1口 10,000円

郵便振替 01080-9-1566

加入者名 公益財団法人京都YWCA



以下のサイト、上記のQRコードからオンラインでもご寄付が可能です。

<https://congrant.com/project/kyotoywca/4775>

その他の京都YWCAへのご寄付の詳細は事務局にお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

<http://kyoto.ywca.or.jp/support>

ご協力ありがとうございました

2023年4月1日から5月31日 寄付者一覧(敬称略、順不同)

各指定寄付

*法人支援

大城美代子、上村愈巳子、同志社高校宗教部

*100周年記念募金

荒垣加津子、延原正海、松下起子、堀部碧、本田次男、下村泰子、田中慶子、平城智恵子、野田恵津、宮武美知子、中西和江、鹿野幸枝、加畑究、山本知恵、一般財団法人平塚YWCA

*多文化共生委員会

池上信子、富田京子、内田匡子、友岡文

*APT

内田匡子、織田雪江、神門佐千子、安藤いづみ、本田次男、篠田茜、有田孝子、匿名

*平和・環境活動委員会

日本キリスト教団室町教会

*あじさい保育園

安藤昌人

*自立援助ホーム「カルーナ」

御前明美、堀部碧、平野富希、村松通子、篠田茜、伊東真喜子、岩崎明生、竹内二三、井上依子、匿名

*賛助費

中村博信、船山昌代、斎藤豊子、北村保子、田中慶子、佐伯昌和、吉川文一

5・6月/理事会報告

- 京都YWCAの多言語電話相談グループAPT(Asian People Together)30周年誌発行
- 会員ハンドブック改訂版を発行
- 京都YWCAのLine公式アカウント開設
- サマリア館補修工事の日程決定(7/24～9/16)、工事期間中は

サマリア館利用を制限

- あじさい保育園の園庭・屋上整備(築山、砂場砂入替など)を実施
- 留学生援助基金と指導者養成基金を「リーダーシップ養成基金」に統合
- 2022年度事業報告書、カラー版2022年度事業報告書を発行

KYOTO YWCA No.575 2023年7月号(7月1日発行)

発行人：上村愈巳子

発行所：公益財団法人京都YWCA

〒602-8019

京都市上京区室町通水上ル近衛町44

電 話：(075)431-0351

F A X：(075)431-0352

e-mail：office@kyoto.ywca.or.jp

H P：http://kyoto.ywca.or.jp

郵便振替：01080-9-1566

口座名義：(公財)京都YWCA

定 価：1部50円

発 行：奇数月1日発行